



河小だより

四日市市立河原田小学校

第23号 令和4年3月1日

校内をまわっていると、子どもたちの作品が目にとまります。新年試筆で書いた毛筆、図工で製作した針金アート、冬をテーマにした短歌、絵本を読んだ感想文、身近な人の紹介文、卒業まであと何日かを示したカウントダウンカレンダー等。丁寧な仕上がりに味わいのある作品に心がほっこりします。3年生が国語の時間に作った詩が掲示されていまして、紹介します。「小さくなっていくランドセル」という詩です。3年生の作品ですので、「あと三年」となっていますが、何年生に置き換えても、この詩に込めた思いは通じると思います。

1年生も1年間ですいぶん大きくなりました。4月、ランドセルを背負うと足もとがおぼつかない1年生もいました。それが今ではしっかりと地を踏みしめて歩いています。6年生ともなると、背中にちょこんとランドセルが乗っかっているようにも見える子もいます。ご家庭でもこの1年間のお子様の成長を振り返っていただき、お子さまとともに喜び、次の学年、次のステージでの目標を立てていただくとよいと思います。

卒業式は3月18日です。6年生の3月の登校日数は14日です。卒業式にはランドセルは必要ありませんので、ランドセルを背負って登校するのも本当に残りわずかです。6年間背負い続けたランドセルともあと少しでお別れです。

小さくなっていくランドセル
ランドセルが小さくなったように見える
私は鏡を見た
私の背中のランドセルは やっぱり小さく見える
じょうぶなランドセルが小さくなったんじゃないやなくて
私が大きくなったんだ
あと三年 私はもつともつと大きくなる
そして もつともつと小さくなるランドセルを
私はあと三年間 背負うんだ

● 6年生を送る会

2月25日（金）の2・3限目に「6年生を送る会」を行いました。本来であれば、全校児童が体育館に集まって、合唱や合奏、ダンスなどの表現を行うのですが、コロナ禍ということで、一堂に会することや大きな声での合唱等ができません。そこで、できる範囲で工夫を凝らして行いました。事前にビデオ撮りしたものを教員が編集し、それぞれの教室で視聴するという形で行いました。歌あり、手話あり、ダンスあり、劇ありの、見ごたえのある、そして心温まる作品でした。途中、6年生の元担任で、転勤した教員がサプライズで画面に登場し、当時の思い出を話してくれたり、中学校でも自分らしく頑張りたいというメッセージを話してくれたりという内容もありました。それまでは楽しそうに笑っていた6年生も、引き締まった表情に変わり、プロジェクター越しの懐かしい先生の姿をまっすぐに見つめる様子がありました。最後は6年生から5年生に校旗の引継ぎを行い、1～5年生が作る花道を通って校舎内を1周し、下級生全員で6年生の卒業を祝福しました。



【ご確認・お願い】

- 欠席、遅刻の場合は、登校班の班長に電話連絡をするか、直接伝えるとなっています。連絡がなく遅れることにより、班員全員の出発が遅れてしまうことがないように、連絡は確実にお願いします。集合時刻を過ぎても集まらない場合は、呼びに行ったり、長い時間待ったりすることがないように、先に出発することとなっています。ご確認をお願いします。
- ポケットに手を入れたまま登校してくる児童が、何名かいます。つまずいてこけた場合、大変危険ですので、手を出すよう指導しています。お家でもお話しください。

● 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果より

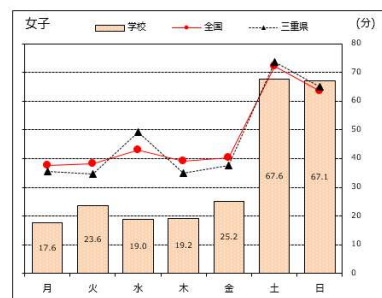
1学期に全国の5年生を対象として行われた「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が届きました。全国の小学5年生と比べ、本校の5年生44名は、次のような傾向があることが分かりました。

・体格調査（身長・体重）では、男女とも全国平均を下回りました。
・実技調査では、男子は全国平均と比べ、長座体前屈は上回り、シャトルランでは下回りました。他の種目は全国の平均値と同等でした。女子では、握力、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げで、全国平均を下回りました。上体起こし、長座体前屈、反復横とびは、全国平均と同等の値でした。

・意識調査では、男女とも全員が「運動が好き」「運動は大切」と答え、全国平均を大きく上回りました。この傾向は本校の児童全員に行ったアンケート調査でも同様の結果となっており、本校の子どもたちが運動好きで、運動の楽しさや運動の大切さを理解していることがわかります。

・本校の平日の男子の運動時間の平均は58分で、全国平均とほぼ同じですが、土日の平均は96分で約27分少ないことが分かりました。また、女子は土日の運動時間の平均は67分で、ほぼ全国並みですが、平日は21分で全国よりも約19分少ないことが分かりました。（右上図）

・全国的な傾向として、小学生の体力の状況は、令和元年度以降、低下しています。（右下図）スポーツ庁はこの理由の主なものとして、「運動時間の減少」「動画視聴時間の増加」「肥満傾向の児童の増加」と分析しています。コロナウイルス感染症の影響が大きいとも分析しています。



上のような本校児童の調査結果や全国的な傾向を受け、校内で次のことを確認しました。

- 体育の授業を中心に、子どもたちに運動の楽しさを引き続き感じさせるとともに、学年および子どもの体格や発育に応じた運動量を確保し、運動の質を高めていく。
- 実技調査で全国平均を下回った種目については、体育の授業や授業初めの5分間運動に計画的に取り入れ技能の向上につなげていく。ただし、発育に合わせて負荷をかけすぎないようにする。
- 平日の運動量の確保のため、20分休み等に運動場に出て身体を動かすよう促していく。また学校や学級全体で行う取組も企画し、普段は教室で過ごす子どもたちにも外で体を動かす機会を持つ。
- 「男子の土日の運動量が少ない」「女子の平日の運動量が少ない」「令和元年度以降、全国的に子どもの体力が低下している」等を踏まえ、ご家族で定期的に運動する機会を設けていただきますようお願いいたします。コロナ禍につき、外出することはなかなか難しい状況ですが、お庭や近くの公園等で、お子様と一緒に身体を動かすことは、運動の楽しさを実感できるとともに、お子様の体力の向上につながると考えます。また、スポーツ庁の「子供の運動あそび応援サイト」(右QRコード)等、ネット上には、室内でもできる体力向上につながる遊びや運動もたくさん紹介されています。一度ご覧いただき、参考にさせていただければ幸いです。
- 「河小だより21号」でもお知らせしましたが、平日の1日当たりのテレビ・ゲーム・動画視聴等が3時間以上の児童の割合は31%でした。一方で、平日の1日当たりの読書時間が10分未満の児童は37%です。学校から帰ってきてから夜寝るまでの生活を、お子様と一緒に見直してみてください。良い習慣は子どもにとって大きな財産となります。

